

イザヤ6章(70人訳)

- 1 ウ ज्या王が死んだ年 私は主が王座に座っておられるのを見た、高く上げられ、彼のすそは神殿を満たしていた。
- 2 その上にセラフイムが立ち、彼らはそれぞれが6つの羽を持っていた、2つをもって彼らの顔をおおい、2つをもって足をおおい、2つを持って彼らは飛んでいた。
3. そのうちの一人がそれぞれに叫び語った: 聖なる、聖なる聖なる方、万軍の主、地は彼の栄光で満ちる。
- 4 そしてドアのポストは彼の叫びにより動いた、家は煙で満ちた。
- 5 それで私はいった、私は災いだ私はふさわしくないからだ、何故なら私は汚れた唇のものであり、唇の汚れた民の間に住むからだ、それなのに、私の目は王である万軍の主を見たからだ。
- 6 すると、はさむ道具により祭壇の燃えた炭を手を持つセラフイムの一人が私のところに飛んできた。
- 7 彼はそれを私の口につけいった、見なさい、これがあなたの唇に触れたので、あなたの不義は取り除かれ、あなたの罪は追放された。
- 8 そして私は主の声を聞いた、誰を私はつかわそうか、誰が我々のために行くべきか？それで私はいった、私がここにあります、私を遣わしてください。
- 9 彼はいわれた、行ってこの民に語れ、あなたたちは確かに聞くが、しかし、悟らない、あなた方は確かに見るが、それを知覚しない。
- 10 この民の心を肥え太らせ、彼らの耳を重くし、彼らの目を閉じよ。彼らが彼らの目で見ず、彼らの耳で聞くことのないように、そして心で悟り、改心し、癒されることのないように。
- 11 それで私はいった、主よいつまでですか？彼は答えていった、町が消耗し住民がいなくなるまで、家々に人が住まなくなるまで、そして国がまったく荒廃するまで。
- 12 そして主が人を遠くに移し、そして土地のまんなかに大きく見捨てられることがある。
- 13 しかし、その中になお、1/10があり、それは帰還する、そして食べられる: テレピンの木や櫨の木のように、彼らが葉を取り除くときその中に切り株がある。聖なるすえがその株である。

